

発行：おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪166
☎ 0465-35-0001 📠 0465-35-4666 🌐 ozawayoshinaka.com



さあ、あと8ヶ月!

3期目への戦い

早いもので、おざわ良央県議も2期目の最終年に入りました。

長く続くコロナ禍で、後援会の諸活動も支持者の皆様との交流もままならず、不安な厳しい状況の中で、3期目の決戦まで8ヶ月を残すのみとなりました。

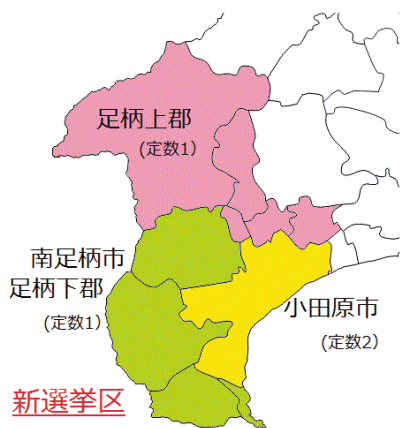
昨年来、おざわ県議も、地元と県庁、県議会を繋ぐ仕事は勿論、責任を委ねられた場所場所で得難い経験を重ねながら、全力を傾けて活動をしてまいりました。

ウイズコロナ時代に合わせて、後援会やご関係の皆様にご今まで以上に強力なお力添えをいただき、このコロナ禍の中の選挙戦という特別な難局を乗り越えて行かねばなりません。

皆様とおざわ県議との、諸会合やふれあいを通して、心を一つにしていきたいと思います。



県西地域の県議選挙区変わる! 小田原市選挙区定数2で変わらず



来春の神奈川県議会議員選挙の議員総定数、及び各選挙区の定数が、「神奈川県議会 議員定数等検討委員会」での議論をへて決定されました。

議員の総定数は105人で変わりませんが、選挙区の人口が「議員一人当たりの人口(88,000人)」の半数を下回った足柄下選挙区(人口 41,461)については、現在の南足柄市・足柄上選挙区の合区を見直した上、隣接する南足柄市と合区することになりました。

これにより、「南足柄市・足柄下」選挙区(人口 82,282)、また足柄上郡5町を区域とする「足柄上」選挙区(人口 65,355)が設置され、定数はそれぞれ1人となりました。

小田原市選挙区(人口 188,856)は定数2人で現行どおりです。

おざわ県議 新役職決まる!

おざわ県議の新年度(令和4年度)の県議会等の役職が決定。ますますの活躍が期待されます。

- 文教常任委員会 [副委員長]
- 安全安心対策特別委員会 [委員長]
- 予算委員会 [委員]
- 神奈川県自然環境保全審議会 [委員]
- 自民党神奈川県支部連合会 [副幹事長] 留任



県議会自民党県議団 代表質問 報告

県議会令和4年第1回定例会で、2月18日、**おざわ良央は自民党県議団49名を代表し「代表質問」をしました。**県政全般にわたる幅広い視点から、今、そして未来を見据えた諸課題について、政務調査会の議論を経て決定された内容を、知事始め、企業庁長、教育長、警察本部長に問いました。**(主要質問のみ要約)**

今、そして未来を見据えて！

DX推進におけるデータ統合連携基盤を活用した市町村連携をどう進めるか

就労人口の減少が見込まれる中、中小企業の労働生産性向上へ向けた支援について

中高年のひきこもり支援について

【おざわ】中高年のひきこもり支援を担う市町村が適切に対応できるよう、県としてどのように支援・連携していくのか。

【知事】医学的な助言のほか親の財産管理や介護手続き等、高度で専門的知見が求められる。県では来年度から、ひきこもり地域支援センターに、医師、弁護士等の多職種の支援チームを新設し、市町村の支援を強化していきます。

県警察の組織体制の見直しと女性警察官の割合の拡大について

【警察本部長】近年、女性や子どもの被害や児童虐待事案、高齢運転者の交通事故の増加等が課題。そこで来年度は「支援室」を新設、また令和8年度までに性犯罪等の捜査や支援を強化するため、女性警察官の割合を12%に拡大するなどの取組みを進めます。

神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の改善について

【教育長】「検討協議会」では、改善の方向性として、面接は、各中学・高校が実施の有無を選択、また選抜日程の短縮を検討するなど意見があった。最終報告を踏まえ、改善方針を年度当初を目途に策定したい。

県立高校改革実施計画(Ⅲ期)の策定について

【おざわ】生徒が夢と希望を持ち、学びを通じて、生涯をたくましく生きる力などを身につけられる計画となるよう期待するが、見解を問う。



子ども達が性犯罪・性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないための〈生命の安全教育〉の取組みは

【教育長】現在、保健の授業やロングホームルーム等で、防犯教育、性に関する教育、SNSに潜む危険性を学ぶ情報教育等に取り組んでいます。また、「生命(いのち)の安全教育」の基本となる教員向け「性教育指導の手引き」を今年度中に改訂、外部人材の活用も進めます。

急傾斜地崩壊対策事業の推進について

【知事】県民のいのちを守る取組みとして、擁壁等の急傾斜地崩壊防止施設の整備は大変重要。がけ高10メートル以上では国の交付金を活用し、満たさない場合は県単独事業で進めています。10メートル未満でも国の交付金対象となるよう要件緩和を働きかける等、事業の一層の推進に向けて取り組みます。



環境農政常任委員会

副委員長報告

令和4年3月1日、県議会環境農政常任委員会が開催され、おざわ副委員長は、所管の課題について、終日集中的に質疑を重ねました。(要約)



1 脱炭素社会の実現に向けた取組みについて

- ①脱炭素化戦略の進め方と温暖化対策計画への反映について
- ②脱炭素モデル地域の設定と県内他地域への展開について
- ③中小規模事業者の省エネルギー設備導入支援について
- ④2030年度までに、公用車の電動化と県有施設の再エネ電力100%化について
- ⑤2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減という高目標の達成について

2 プラスチックごみの海洋汚染対策について

- ①フォークやスプーンなどのワンウェイプラスチックの削減について
- ②ペットボトルなどのプラごみ再生利用の推進
- ③河川プラごみの回収強化について



【要望】神奈川県は、平成30年9月に全国自治体に先駆けて「プラごみゼロ宣言」を発表し、取組みを進めてきた。今後策定されるアクションプログラムの中に一層意欲的に反映されるよう要望します。

3 本県水産業の振興施策の推進について

- ①県の大規模外洋養殖事業誘致及び漁業者の所得向上について、かながわ水産業活性化指針での位置づけは
- ②漁港の交流促進施設等の多目的利用と、水産業の振興及び漁業者の所得向上や施設投資等への支援について
- ③「農政部」から「農水産部」への名称変更について
- ④計画策定にあたっての漁業者意見の反映について
- ⑤県営小田原漁港の強靱化への具体的な内容について

【答弁】現在の防波堤の先端に、15m ケーソン 2 つを増設して計30m延伸、令和5年度完成予定です

6 小田原市南町の荒久地区海岸の高潮被害や海岸浸食対策は

【答弁】令和7年度工事完了を目途に人工リーフ整備を着実に進めます。



TOPICS!

令和4年度 県予算 小田原市・県西重点事業

令和4年度の神奈川県予算に計上されている小田原市や県西地域の諸事業、諸施策の中で、特に市民生活に直結するハード事業を中心にその一端をご紹介します。

1 県立足柄上病院2号館建替え計画

2030年度までに県内販売の新車乗用車の全電動化を目指す。またEV等の充電設備整備費を補助。

3 県有施設の再エネ電力100%化と公用車の電動化

令和4年度事業として都市計画道路「穴部・国府津線」の改良工、委託、用地補償等、また「城山・多古線」整備の改良工、委託事業を推進。

小田原市の中心街を通る国道255号の銀座通りの無電柱化事業に引き続き、今年度は竹の花地区約270mの電線地中化促進事業を着手。



足柄平野の主要な農業用水路で水害抑止機能を併せ持つ鬼柳堰の整備が進められていますが、今年度は鬼柳地区の取水堰改修工の測量、設計等を予定。

広域農道小田原・湯河原線の整備(幅員7m)では、小田原市、真鶴町、湯河原町の農道工419mと関連事業を推進。災害時の緊急輸送や迂回路等の防災対策としても活用される。

8 荒久海岸人口リーフ整備、小田原漁港防波堤延伸工事の進展



山王川改修事業は河川拡幅整備を進めているが、小田急線の橋架替え工事にあわせ、今年度も鉄道橋架替工と護岸工を施行。令和6年完了予定。



国道135号(真鶴道路)の道路災害防除事業の米神地区崖地の法面工を施工。観光や地域住民の生活を支える重要道路として台風災害時等の土砂崩落や落石等に対応、交通機能の確保と安全を図る。

11 酒匂川堆積土砂対策の推進